

福井県DX推進本部 第2回本部会議

令和3年11月1日



～次第～

1 本部長 挨拶

2 これまでのDXの取組と今後の方針

3 各部からの報告



1 本部長 挨拶

福井県知事 杉本 達治



2 これまでのDXの取組と今後の方針

DX推進監 米倉 広毅





これまでのDXの取組

両面から取組

目に見えるデジタルの取組



全県を挙げたDX遂行に向けた仕組み

機
運
醸
成

D
X
推
進
・
定
着
に
向
け
た
土
台
整
備

DXプログラム執行

生活 産業 行政 のDX
(47 ⇒ 54事業へ拡大)

生活や業務に密着したDXの恩恵から提示

デバインド対応 除雪見える化 交通危険エリア見える化
コロナ対策デジタル化 (支援金申請・ワクチン接種予約) 等

県民・産業の基盤作り

(デジタルデバインド対応、DX推進支援)

方針策定

(DX本部会議)

人材育成・確保

(研修/ハンズオン/伴走、外部人材登用)

組織化・仕組み化

(DXリーダー制、相談/共有/取組可視化)

県

プロジェクト共同誘致

(DX、シビックテック)

システム共同利用 検討

取組・ノウハウ共有 (共同ワークショップ)

連携強化・機運醸成 (講演・セミナー等)

市町等との連携

スマートふくいの実現

2021

3

4

5

7

9

今後

DX推進本部設置
DX推進プログラムver.1.0策定

研修開始
DXリーダー決定
市町ワークショップ①

DX推進プログラムver.1.1見直し
RPAキャンプ・業務改善コンテスト
市町シビックテック事業

DXプロジェクト誘致
市町ワークショップ②

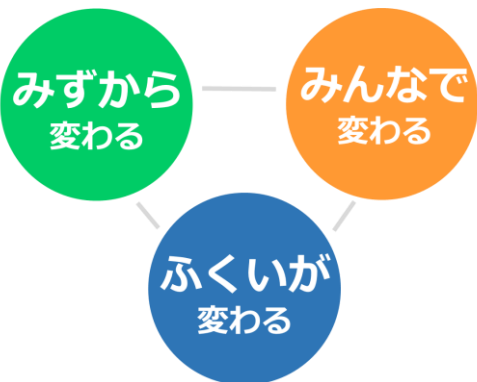
(1) 方針策定 (DX推進により目指す姿)

DX推進プログラム



DX推進の3本柱

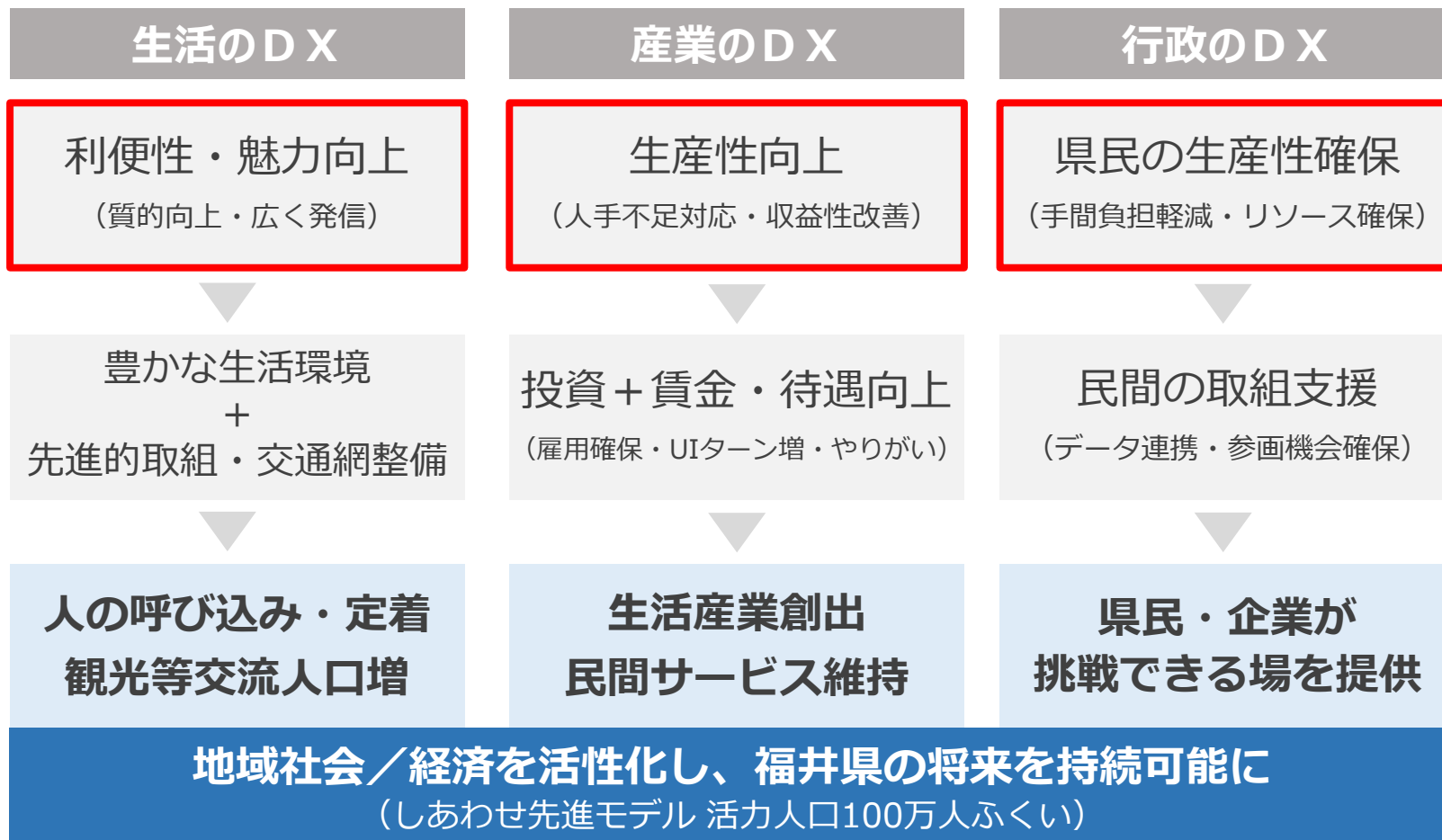
(第1回本部会議)



福井県の将来を持続可能なものとするため
「DX = 即効性が高い手段」を早期に活用
(人の呼び込み、地域社会・経済の活性化を狙う)

即効性が高い
ドライバー

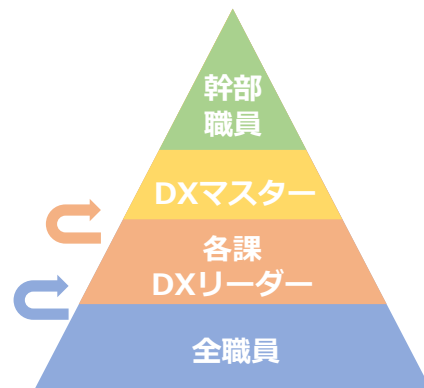
取組み
目的



(2) 人材育成・確保

1 DX研修の実施

- **全職員対象**のオンライン研修開始（5月～）
- DX推進監セミナーの実施（8月～）
（県・市町（幹部～職員）・県民向けの3層）

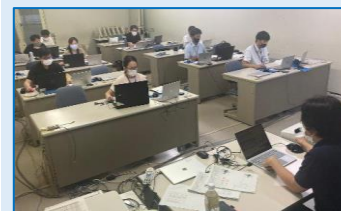


2 実践型／伴走型研修の実施

- 全庁的な業務改善として「**RPAキャンプ**」57所属80名参加（7月）
- **外部デジタル人材登用**（未来戦略アドバイザー2名：データサイエンティスト）により、コロナ対策・観光等13件でデータ分析を活用（4月～）
- **DX協定事業者連携**（マイクロソフト・NTTドコモ）を通じて、**職員による業務システム構築**等が進展（ワクチン接種受付等）（4月～）

PickUP! 事例 1

「RPAキャンプにより全庁的に業務改革」



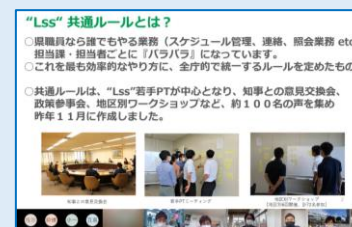
- 財務システム自動入力等、複数の共通業務簡素化のシナリオをハンズオン実践
- 約1万時間+αの削減効果
- 研修後、更なる取組相談へのポジティブループ31件
- 約8割の所属で業務効率化

3 DXリーダーの選定

- **全163所属**から若手職員中心に**240名**選定（5月）
- **職場のDX目標**を全所属で設定し、全所属で遂行（8月～）
- **オンライン研修**（より高度な研修・LSS再確認等）を累次実施（9月）

PickUP! 事例 2

「DXリーダー研修会の実施」

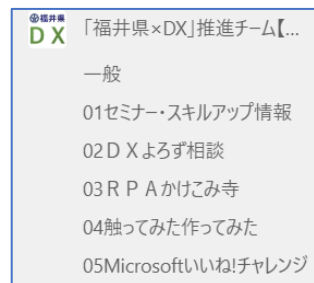


- 「LSS共通ルール」に基づく業務効率化推進
- 全庁各課でDX取組目標を設定（1所属1取組）

(3) 職員による取組支援・文化形成

1 相談受付体制（Teamsでの連携）

- Teams「DX推進チーム」整備
（全庁より**有志660名登録**。平均投稿**14件/日**）
- 職員による情報交換・相談の場として熱量高く機能
（RPAキャンプ取組後は、ほぼ**毎日**RPA問い合わせあり）



2 取組可視化（イントラで公開）

- いんたらねっと「DX推進のひろば」を開設、**職員の取組事例**（RPA・データ利活用等）等を掲載（5月）
- 「RPA作ってみた動画」は**1,000回以上再生**



3 事例共有・相互賞賛

- 職員自らが取組・構築したDX業務改善事例を収集（8月）
（RPAからMicrosoftアプリを用いた高度な情報処理まで）
- **22事例**の応募、職員からの**370件**の「いいね！」投票

PickUP! 事例 3

「組織を越えたDXの相談・支援が活発化」

- 「DXよろず相談」チャンネルでは、これまで**8件解決/10件相談**
- 「個人情報保護の対処方策」問い合わせ等、DX担当課以外の職員が助言し合い解決に至る等、職員間で支援し合う動き

PickUP! 事例 4

「Microsoftいいね！チャレンジ」



- 370件投票中、ワクチン予約受付システム構築やRPAの取組等に、多くの職員が着目
- 深い事業知識を持つ職員による、迅速なシステム自作の取組も進む

(4) 各部局での積極的取組

1 部局での積極的推進（土木部）

- 技術審議会の下、副部長（防災・特定）をトップとした「土木部技術小委員会（DX）」を定期開催（5月～）
- 新たなDXの取組（4チーム26施策）を検討・進捗管理

2 市町との連携（教育庁）

- 市町教育委員会と「教育DX推進会議」を定期開催（9月～）
- 教育の質の向上・教員の負担軽減の両面から議論

3 民間との連携（産労部・地戦部・教育庁）

- 福井県情報システム工業会等と連携（R2.12月～）
（DX検討化分科会（見守り、IT人材育成、行政手続きを集中検討）と定期的意見交換を実施）
- 民間企業から講師を招聘したデジタル教育を推進（R3.12月～）
（職業系の高校生に対し、情報科目に加えてアプリ開発等を対面・オンラインで講義）

PickUP! 事例5

「部署横断チームを結成し、施策を検討」

- 小委員会下、担当横断の4チームを組織し、施策検討（異常気象対応、インフラ管理、行政手続、i-Construction推進）
- 先進事例・他県先進事例を研究

PickUP! 事例6

「県・市町の担当者間協議の場」

- 市町間の課題認識・取組状況、他県先進事例紹介、教員の働き方改革の議論等を目的に、県と全市町の担当職員によるWEB会議実施（タブレット端末自宅持ち帰りやデジタル教材の在り方等について意見交換）
- 情報連絡・共有の仕組みも今後検討

(5) 市町等との連携

1 DX推進の機運醸成

- DX推進監セミナーの実施（4月～）
（市町幹部職員・担当者・県民向け3層でのセミナー実施）

2 共同ワークショップの実施

- 県下足並み揃えたDX推進に向け、取組・ノウハウ共有や課題解決を図るワークショップを定期開催（5月～ これまで2回）
- 第1回はDX推進の課題共有・検討、
第2回は実践編としてRPA取組（県市町事例の相互紹介・ハンズオン実践）

3 地域課題解決プロジェクトの実施

- 美浜町共催でシビックテック推進（7月）
（「海岸の漂着ごみ問題解決」アイデアソンをオンライン開催）
※ 11月末、福井市共催で「観光地周遊向上・自治会活動DX」ハッカソンを開催
- 「未来技術活用プロジェクト」に全国から51件応募。
市町と協議の上、6件採択（10月）
（年度末にかけ実証：農林水産・観光・健康福祉・防災・広報広聴分野）

PickUP! 事例7

「市町担当者とのワークショップ開催」



- 人材育成や体制・ノウハウ等、県の取組を共有
- データ分析・課題解決
（デバйд対策・地域交通等）・
マイナンバーカード利活用策等を今後検討予定

PickUP! 事例8

「福井県美しい浜アイデアソン」



- ITエンジニアや学生等、全国から24名参加
- 地元関係者による課題説明を踏まえ、解決策を議論
- 提示アイデアを踏まえ、美浜町が事業化検討中

DXにより、リアルな空間での取組の 「データ×AI×機械（ロボット等）化」を推進



- **未開・意図・暗黙知を可視化**
(大量・リアルタイムでのデータ取得・流通)
- **予測・標的精度が高度化**
(流通・連携した大量データによる分析・シミュレーション)
- **疲れない・場所時間の制約がなくなる**
(定型指令を常時・高速に自動処理、開疎・分散化)

デジタル処理
IoT等

AI

ネット
ネットワーク等

- ✓ あらゆるものがデータ化・可視化され、それらの情報処理・反復作業を自動化
- ✓ 現実に即応かつパーソナライズされた新たな価値を提供
- ✓ ヒトは動かず、データや機械が動く（場所・時間の制約なし）

(7) 県民の利便性向上施策

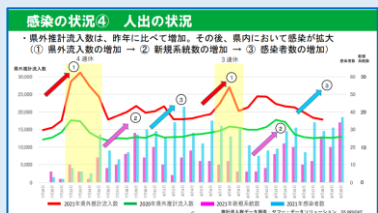
1 コロナ対策のDX（コロナチーム）

- データ分析に基づく政策立案・メッセージ発信の検討（おはなしはマスク、感染の県外流入相関分析、特化型経済支援策 等）
- 政策遂行に当たり、状況可視化・県民利便向上及び現場負担軽減に資する自動化等を遂行
 - ☑ ワクチン接種予約可視化<オープンデータ提供> ☑ ワクチン接種予約電子申請<職員自作> ☑ 施設混雑状況可視化<オープンデータ提供>
 - ☑ QRコードを用いたイベント入館者把握（感染者発生時に連絡） ☑ 給付金の電子申請 等
- デジタルでのわかりやすいメッセージ発信（ホームページ提供情報等の見直し、SNS活用）

データ分析

PickUP! 事例9

「県外流入数と感染者数の相関分析」



- 感染者と県外流入（人流情報より算出）との相関分析
- 分析を踏まえた、県外往来自粛のメッセージ発信

状況可視化

PickUP! 事例10

「ワクチン接種予約見える化システム」 （その他、施設混雑状況見える化等 整備）

| | | |
|------|-----|------|
| あわら市 | 勝山市 | 大野市 |
| 坂井市 | 福井市 | 永平寺町 |
| 越前町 | 鯖江市 | 越前市 |
| 高浜町 | 若狭町 | 美浜町 |
| | | 敦賀市 |

- 県内IT技術者と連携（シビックテック）し、ワクチンの予約空き状況を見える化
- 医療機関の混雑状況の即時提供に加え、病院側の負担を軽減

自動化

PickUP! 事例11

「ワクチン接種予約システムを職員が自作」



- QRコードツール活用し、若手職員がシステムを数日で自前構築
- 接種予約受付の即時対応、若年層の利用シーンに即した対応により、これまで約2千名が利用

(7) 県民の利便性向上施策

| | | |
|----|----------|---------|
| 土台 | 方針策定 | 市町等との連携 |
| | 人材育成・確保 | |
| | 組織化・仕組み化 | |

2 除雪状況の見える化（土木部）

- 除雪車の走行軌跡等の見える化（R3.6月補正）により、降雪期に県民が求める情報の発信を強化
- その他、AIによる道路状況の音声自動応答等を実施

3 デジタル時代の交通安全対策（地戦部・安環部・県警）

- デジタル機器を活用し、リアルな運転挙動データ（急ハンドル・急ブレーキ等）を取得（10月～）
- 取得データから隠れた危険エリアを可視化し、交通安全対策に活用（交通安全マップの学校配布による児童見守り等への活用）

4 中小企業・県民のDX活用支援（産労部）

- 「ふくいDXオープンラボ」開設（6月）
中小企業向けに、事例共有やDX専門家派遣（これまで33件）を実施
- 「ITスクール」を開講し、IT人材を育成（8月～）
（受講生サポーター企業との交流会等、県内就職に向けた支援を実施）
- デバイド対応として、県民へのスマホ教室やふく割導入支援を実施

PickUP! 事例12

「除雪状況の見える化推進」



※イメージ図

- 「みち情報ネットふくい」で、除雪状況・道路情報・最重点除雪路線・消雪区間を表示

PickUP! 事例13

「福井市明新地区での新たな交通安全対策」



- 10月～翌1月、明新地区の周辺学校や企業、数百名の協力を得て取組
- 公民データ掛け合わせ等による更なる分析を今後検討

(8) 今後の方針

D X推進・デジタル行政構築・サービス連携に向けて挑戦

デジタル化に取組

| | | |
|---------|----|--|
| 政策・サービス | 生活 | <ul style="list-style-type: none"> デバイド対応 除雪／交通可視化 コロナ対策 |
| | 産業 | <ul style="list-style-type: none"> 企業DX取組支援 (前向きな取組を支援) |
| | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> システム共同利用 検討 |

| | | |
|----|----|--|
| 土台 | 市町 | <ul style="list-style-type: none"> 取組ノウハウ共有 共同実証取組 |
| | 県 | <ul style="list-style-type: none"> 仕組み作り 1組織1取組 |

地域社会・経済の活性化

<生産性向上・需要創出>

- ✓ 分散型社会の受け皿
- ✓ 地域インフラ等の維持確保

デジタル行政の構築

< 県民の 生産性・利便性確保 >

- ✓ 手続・支援の
迅速化・負担軽減
- ✓ 災害時の行政運営継続確保

デジタル化 → DX

<データ×AI×機械化>

- ✓ 状況・ニーズ可視化
- ✓ 情報流通による分析・予測
- ✓ 自動化・分散処理

政策・サービス

生活

- **質的向上／人を呼び込むサービス提供**
(現場徹底型・データ分析強化・シビックテック推進等)
- **福井モデルのスマートエリア形成**
(新幹線街づくり／嶺南Eコースト／敦賀スマート港湾)

産業

- **現場の実情に踏み込んだハンズオン支援**
(支援機関との連携強化／業界単位の取組推進等)
- **さらなる人材育成／供給策**

行政

- **デジタルファーストの加速化**
(行政手続オンライン化／情報デジタル化／テレワーク)
- **国と歩調を合わせた基盤整備**
(17基幹業務標準化／マイナンバー利活用促進)

サービス・データの連携
(柔軟かつ利便性高い政策遂行)

県民とのデジタル接点強化
(ニーズ解析・情報発信の高度化)

土台

市町

- **市町支援の継続強化** (人材・技術ノウハウ面のサポートの追加等)
- **共同取組の継続** (実証プロジェクト／システム共同利用)

県

- **DXリーダーの取組深化** (1組織1取組の継続拡大)
- **基盤整備** (端末等インフラ／人材確保／DX推進の課題分析)

これまで

考慮すべき変化等

スマートふくいの実現に向けて

(8) 今後の方針

① デジタル化を超えた、DXの徹底推進

「状況・ニーズの可視化～分析予測～自動化」による執行、デジタル人材の確保

② 生活者目線で横串を通した生活DXのサービス提供

ニーズを解析し、個別のサービスやデータを連携させることで、柔軟かつ魅力的なサービスを提供

③ 地域経済の活性化に向けた産業DXの強化

これまでの「企業の前向きな取組支援」に加え、「現場でのハンズオン支援」を強化

④ 県民生産性確保・災害時の行政運営継続を支える行政DXの加速化

行政手続のオンライン完結、情報のデジタル把握・共有・分析、場所に囚われない働き方を推進

⑤ ニーズに即した市町支援を継続

県市町共同での取組を継続強化

(ノウハウ共有・プロジェクト共同誘致・システム共同利用・未来戦略アドバイザーによる業務サポート 等)

3 各部局からの報告



事務局からのお知らせ





新ロゴマーク発表



コンセプト

「変える」をカエルに
色使いで、人・コトの多様さ
右上がりの構成で、勢いを表現
(オタマジャクシからカエルに変態：
Transformationも表現)

製作者

| | | |
|--------------|-------|---|
| Art Director | 景山 直恵 | 氏 |
| Designer | 竹澤 正幸 | 氏 |

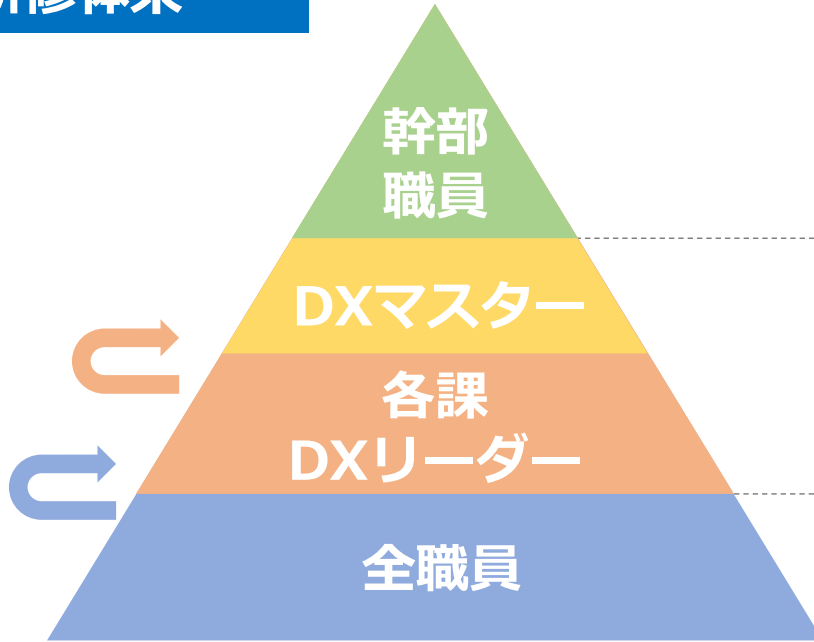
參考資料





DX研修の実施 (P7)

研修体系



- DX・働き方改革ワークショップ
- 伴走型実践研修
〔ハンズオンRPA、データサイエンティスト伴走、協定事業者との事業検討 等〕
- Udemyオンライン研修 (ベネッセ)
- DXステップ講座 (経済産業省)
- レベル別ラーニングパス (マイクロソフト)

DX推進監セミナー

DXセミナー

デジタルを活用した
社会環境の変化 (DX)
と県の取組み

福井県 DX推進監
米倉 広毅

- 県・市町・県民向け (県民・経済団体等) の3層で実施
- 県職員向けでは、実務を担う若手職員を中心に約150名受講

〔「自分事として捉えるきっかけとなった」「全職位・全世代での機運醸成・取組が必要」
「デジタル化とセットで、既存業務の選択・見直しも必要」
「職員による能動的な業務改革に加え、DX促進に資する組織的対応もセットで取り組む必要あり」 等〕



RPAの取組 (P7)

R1・R2年度

R3年度 (11月1日現在)

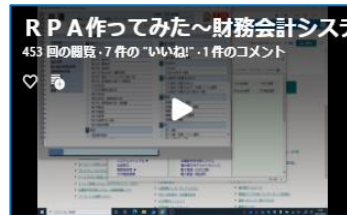
10業務で導入

+アルファ：職員自らによる多様なシナリオ構築

RPA導入にあわせて業務フローを見直し

- 申請経費確認・支払業務
- 執行伺い作成業務
- データ入力・台帳作成業務
(入札関係・ふるさと納税・農業関係 等)
- データ取りまとめ業務

等



- ✓ 導入事例紹介
- ✓ 使い方動画
- ✓ Teamsでの相談・回答



- ✓ RPAキャンプ (80名参加)

- 財務会計システム操作
(補助金交付関係・各種支払業務 等)
 - 調査・アンケート集計
 - セミナー申込者への自動メール返信
 - 証書交付業務
 - 新型コロナウイルス感染症対応業務
- 等

削減効果

約6,000時間

+約4,000時間 超



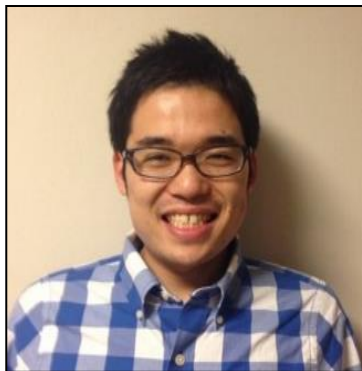
外部デジタル人材登用 (P7)

未来戦略アドバイザーによる、主なデータ利活用事例



寺岡 亮 氏

| 分野 | 内容 |
|------|---|
| 交流文化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 県内文化芸術活動調査に係る分析手法及び調査項目の助言 ● 県内観光事業者の経営支援に資するデータ及び収集・分析方法の助言 |
| 産業労働 | <ul style="list-style-type: none"> ● 県内経済分析調査に係る分析手法及び統計資料の活用方法等の助言 |
| 県民活躍 | <ul style="list-style-type: none"> ● 女性活躍支援施策に係る分析手法及び調査項目の助言 |



佐々木 健太 氏

| 分野 | 内容 |
|-------|--|
| コロナ対策 | <ul style="list-style-type: none"> ● コロナ感染状況及び本県実施施策に係るデータ分析 |
| 交流文化 | <ul style="list-style-type: none"> ● 新幹線キャッチコピーに係る募集意見の傾向及び特徴分析 ● 県観光情報HPのアクセス分析及びUI/UXの助言 |
| 農林水産 | <ul style="list-style-type: none"> ● 動画コンテンツに係る視聴分析及びデジタルマーケティング手法の助言 |



職場のDX目標（一例）（P7）

身近な業務改善

- **クラウドありきの業務遂行**
→ 資料のペーパーレス化・テレワーク推進
- **RPAの積極活用**
→ 業務効率化・品質向上（作業時間短縮・集計ミス防止）
- **日次での業務管理**
→ 業務見える化を踏まえた迅速な対応

広報・情報発信

- **デジタル広報推進**
→ スマホ・SNS等活用し、迅速・的確に情報提供
- **県政情報へのアクセス容易性追求**
→ 県民が求める情報を届ける（AIチャットボット等利用）
- **オンライン説明会・公開講座の活用**
（就職関連・外部パートナー会議・市民講座 等）

DXによる業務推進

- **道路交通量のビッグデータ分析**
→ 交通量変化等を早期把握、計画・効果測定等に活用
- **LINE等を活用した災害情報収集**
→ 情報収集の的確性向上・時間短縮、迅速な情報発信
- **業務検査における分析自動化**
→ 改善項目の見える化による作業時間短縮・品質向上

その他

- **施設利用者へのタブレット貸与**
→ 施設利用者の利便性向上
- **館内展示等をSNSで紹介**
→ 非来館者への施設の魅力発信



LSS共通ルール (P7)

若手職員中心の働き方改革PT (Life Style Shift) が デジタルツールを活用した「業務共通ルール」を作成

- 1 意思決定は、「早く決め、早く実行」
(実行が大切。そして、実行した結果から学ぶ)
- 2 予定管理は、共通アプリで
(いつでも、どこでも、誰でも「見える化」)
- 3 連絡は、電話よりも文字・映像で
(電話は減らす。電話は相手や取り次ぐ人の時間を奪う)
- 4 庁内照会の発注・集計は、より手軽に
(庁内の取りまとめ作業に時間をかけない)
- 5 庁内のルールは、みんなで共有
(庁内通知、各種規程等の検索に時間をかけない)

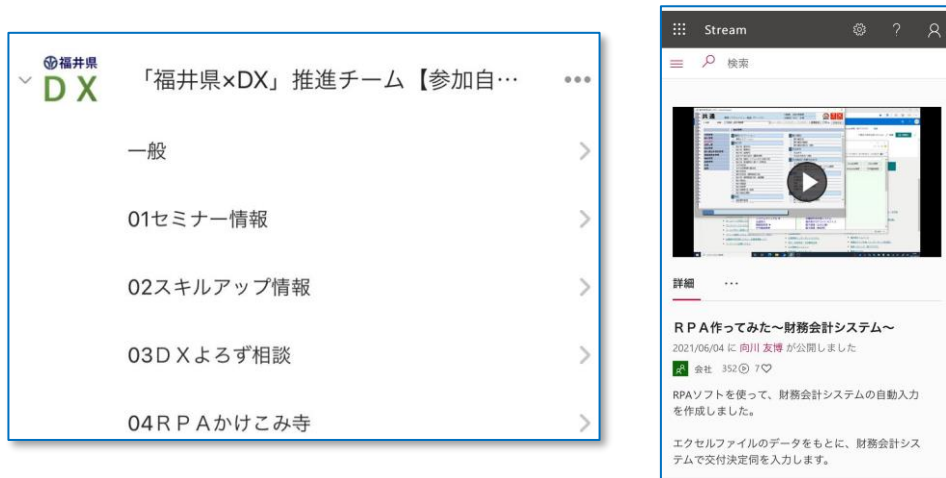
- 会議資料はTeamsで事前共有
- 出先機関とは原則オンライン会議
- Outlookによる進捗管理・共有
- 会議録も同時作成・システム利用
- 連絡はTeams (電話 < チャット・映像)
- 集計作業はTeamsやFormsを活用
- 全庁通知はSharePoint掲示板を活用





相談受付体制・取組可視化 (P8)

Teams (庁内連携プラットフォーム)



「DX相談受付機能・掲示板」を準備 (先行取組者や有識者による助言)

- セミナー情報・スキルアップ情報
- よろず相談
- RPA相談
- 外部事業者連携 等

イントラネット (DX推進のひろば)



職員の実践事例・前向きな取組を公開 (全庁的進捗も可視化)

- 情報共有 (他人真似の実践もOK)
- みんなで称賛・質問回答 (幹部職員も閲覧)
- モチベーション向上・自分事化 (更なる実践)



Microsoftいいね！チャレンジ (P8)

多数生まれている業務効率化の事例を庁内・市町と共有 (事例から「自分でも取り組めそう」という声多数)

業務応用事例22件の応募・職員より370件の投票

Microsoft × 福井県

Microsoft いいね！チャレンジ

Microsoftのアプリケーションを活用した事例を
みんなで共有しませんか？

STEP1 8月6日(金)～8月27日(金)
活用事例を作って応募しよう
別紙のフォーマットに記入し、DX推進室に応募してください。

STEP2 8月27日(月)～9月3日(金)
事例から学び、いいね！で投票しよう
Teamsへの投稿の中から参考になった事例に投票してください。

主な事例

- コロナ対策



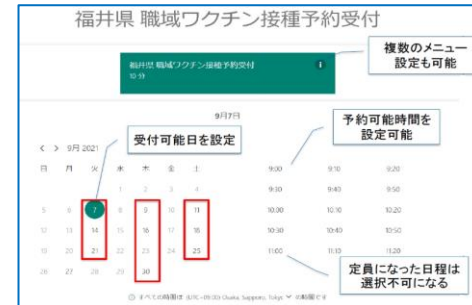
- R P A



**感染防止宣言ステッカー
配布店舗見える化**



**ワクチン接種
予約受付**



- ✓ 財務会計システム
自動入力
- ✓ 公的データの
自動収集・集計
- ✓ 特定ファイルの
PDF自動化

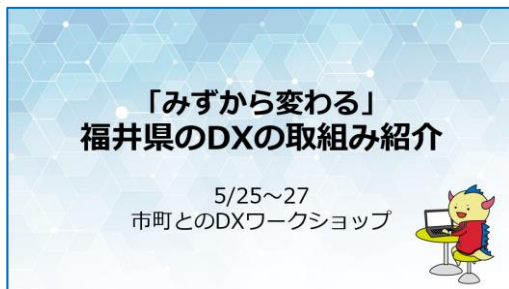
等



市町との共同ワークショップの実施 (P10)

第1回ワークショップ (5/25~5/27)

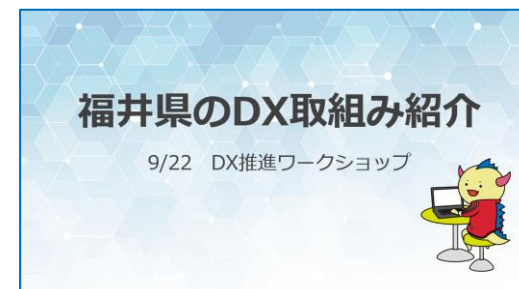
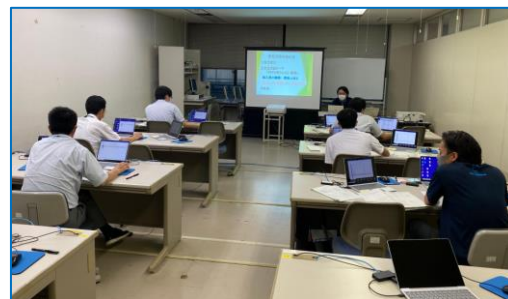
DX推進に向けた 県市町での課題共有・連携強化



- 県の取組・ノウハウの共有
(市町との共同取組事業も紹介)
 - 市町における取組・実状の共有
 - 課題認識及び目指すべきゴールを議論
(行政職員及び一住民として、双方の目線から)
- 「体制整備・業務見直し及びシステム連携上の対処が必要」
「デバイス対応・地域交通・防災対応が喫緊の課題」
「イメージアップのため、具体的な取組や事業での議論を望む」

第2回ワークショップ (9/22)

実務効率化の取組の ハンズオン実践・自治体間事例共有



- 県の取組・ノウハウの共有
(体制構築・研修体系・推進チーム編成・推進施策等の紹介)
 - 県・市町での共同取組事業の共有
 - RPAのハンズオン実践及びシナリオ共有
- 「先行自治体の活用事例や効果から、具体的な適用業務・効果の高い取組方法を理解」
「実践したRPAソフトは操作性が高く、事業者への委託なくとも職員自ら取組可能との印象」



シビックテック推進 (P10)

海岸の漂着ごみ問題の解決 (アイデアソン)

- 美浜町と共催 (7月22日)
- 県内外から24名参加
- 回収の人手不足、ごみ処理費用低減、ごみ問題周知に関する提言5点



観光周遊性向上・自治会活性化 (ハッカソン)

- 福井市と共催予定 (11月27~28日)
- 一乗谷朝倉氏遺跡における観光周遊性向上
地域コミュニティ活性化の2点をテーマ
- フィールドワークも交えたハッカソンを実施





未来技術活用プロジェクト採択事業 (P10)

| | 分野 | 提案内容 | 実証を通じて解決を目指すこと |
|---|------------|---|--|
|  おてつたび | 農林水産 観光 | 地域と若者のマッチングプラットフォーム (福井県に人が来る仕組みの創出) | <ul style="list-style-type: none">● 宿泊施設や農家等の人手不足解消● 地域や事業者のファン化・交流人口の増加 |
|  BEBRIDGE (ビーブリッジ) | 観光 | ARによる道案内とスポット情報シェア | <ul style="list-style-type: none">● ARナビにより地域のおすすめスポットへの回遊促進● 外部メディア/ECサイトと連携した観光情報充実 |
|  DoctorMate (ドクターメイト) | 健康福祉 | 介護施設向け夜間オンコール医療相談 夜間救急搬送時の夜勤スタッフ同伴削減 | <ul style="list-style-type: none">● 医療者の事前判断から、消防・病院への軽症搬送削減● 救急同伴不要化による介護施設職員の負担軽減 |
|  A10 Lab (エーテンラボ) | 健康福祉 | 親子でのフレイル予防プログラム (運動習慣化とコミュニケーションをパッケージ化) | <ul style="list-style-type: none">● コロナ禍での高齢者の心理的・社会的フレイル進行の抑止● バランスのとれた食事・運動習慣の定着 |
|  Spectee (スペクティ) | 防災 | ビッグデータAI分析による 大雪時の車両滞留早期検知と除雪状況判別 | <ul style="list-style-type: none">● 車の走行データ(走行位置、車速)や路面の凹凸をAI分析● 車両滞留の早期検知・除雪状況を可視化した除雪対策 |
|  CyberAgent (サイバーエージェント) | 広報広聴 | 行政HPのデータ解析を通じた HP最適化・政策ニーズ分析(ダッシュボード構築) | <ul style="list-style-type: none">● HP等の固有データ及び検索クエリ解析● 潜在的政策ニーズの掘り起こし・効果的なメッセージ発信 |